

医療連携推進会議録

事業所名 サービス種類	名称：やさしい手中野南口定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所／ SOMPO ケア中野／エイプレイス中野 サービス種類：定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
開催日時	2025年6月14日（第1回）14：00～15：30	
開催場所	中野セントラルパークカンファレンス 1F	
出席者内訳 （順不問）	やまぐち内科ハートクリニック	M様
	やまぐち内科ハートクリニック	W様
	桜山診療所	M様
	まみ中野在宅ケアクリニック	M様
	まみ中野在宅ケアクリニック	H様
	なごみ訪問看護ステーション	K様
	訪問看護ステーション ホームケア中野	Y様
	カリス訪問看護ステーション	S様
	ケアプロ訪問看護ステーション東京中野ステーション	K様
	ひよこ訪問看護ステーション	O様
	おうちの看護	Y様
	おうちの看護	K様
	ユースタイルケア中野 訪問看護	S様
	スギメディカル 介護ソリューション部 企画課	F様
	世田谷訪問介護杉並サテライト	I様
	中野区地域包括支援センター	S様
	中野区地域包括支援センター	W様
	南中野地域包括支援センター	T様
	東中野地域包括支援センター	H様
	本町地域包括支援センター	W様
	弥生居宅介護支援事業所	Y様
	小淀介護保険センター	S様
	小淀介護保険センター	Y様
	みつ葉居宅介護支援事業所	M様
	ケアプロ在宅支援センター東京	S様
	中野在宅ケアセンター	K様
	SOMPO ケア中野 居宅介護支援	M様
	SOMPO ケア中野 居宅介護支援	N様

	やさしい手中野南口定期巡回 SOMPO ケア中野 SOMPO ケア中野 SOMPO ケア中野 SOMPO 世田谷訪問介護杉並サテライト エイプレイス中野 エイプレイス中野	河井 天城 森本 宮越 岩崎 秦 上野
議題・課題	1 定期巡回サービスの概要 2 評価・ご要望、助言等 3 意見交換	
報告事項 秦	<p>●創設の経緯と背景</p> <p>厚労省が令和 4 年度に実施したアンケート結果を紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最後をどこで迎えたいか」：自宅を希望する人が 55%。 ・実際の死亡場所：「病院」が 66%。 <p>●希望と現実のギャップの要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で看取りや、24 時間利用者を支える事のできる仕組みがなかった。 ・一人暮らしや家族の負担が大きい場合、施設介護を選択せざるを得ない状況。 ・地域包括ケアシステムの構築が国策として推進され、その中核サービスとして定期巡回サービスが創設された。 <p>●サービスの利用対象者と併用制限</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期巡回サービスは地域密着型サービスであり、指定自治体に住む要介護度 1～5 の方が対象。 ・訪問介護や夜間対応型訪問介護との併用は不可。ただし、通院等の乗降解除は算定可能。 <p>●基本サービスの内容</p> <p>1 つ目：定期巡回サービス プランに基づき定期的に訪問する通常の訪問介護。</p> <p>2 つ目：随時対応サービス 利用者からのコールに応じてオペレーターが対応。 緊急コール機器の貸し出しを実施。</p> <p>3 つ目：随時訪問サービス オペレーターが対応後、必要に応じて訪問を行う。 例：「転倒した」「排便が出て大変」などの緊急時に迅速対応。</p> <p>4 つ目：訪問看護サービス</p>	

<p>各三社</p> <p>各三社</p>	<p>医療ニーズに応じて主治医の指示を受け、連携を図りながら訪問看護サービスの提供を行う。</p> <p>●定期巡回サービスのポイント</p> <p>訪問回数：訪問介護は1日1回～数回のプラン制、定期巡回は必要に応じて複数回＋随時訪問が可能。</p> <p>訪問の自由度：訪問介護は急な訪問が難しいが、定期巡回は柔軟な対応が可能（例：1時間後に再訪問など）。</p> <p>夜間対応：訪問介護は原則夜間対応なし、定期巡回は24時間体制でコール・訪問対応。</p> <p>看護師との連携：訪問介護は原則連携なし、定期巡回は看護師との連携が必須。</p> <p>●訪問看護サービスとの関わり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護サービス利用時は、医師の指示書のもと介入し、定期巡回と連携して日々のアセスメントを実施。 ・看護サービス未利用の場合も、アセスメントのみ月1回訪問。医師の指示書がないため医療的処置は不可だが、アドバイスや注意点の指摘で利用者の安心感を確保。 ・看護師は月1回程度訪問し、医療的な視点でアドバイスを提供。アセスメント料は定期巡回側が支払い。 ・状態悪化やADL低下時は、スムーズに介護保険・医療保険での看護サービスへ移行可能。 <p>●実績報告</p> <p>●事例</p>
<p>要望、意見及び助言等</p>	<p>●緊急対応・コールキー利用に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者から「コールキーを押したらどれくらいで来てくれるのか」との質問が多い。 ・平均的には30分以内で対応可能と説明しているが、実際には利用者がコールキーを使いたがらないケースも多い。 ・介護者（例：奥様）が自分で対応しようとする傾向があり、包括的な説明をしても利用が進まない場合がある。 ・認知症の方がコールキーを使えるかどうかは個人差が大きい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問時に使い方を説明するが、実際に押せるかどうかはその方次第。 ・これまでの経験では、押せる方が多い印象。 ●緊急対応体制と到着時間について <ul style="list-style-type: none"> ・基準上は「30分以内に駆けつけられる体制」を整えることが求められており、各事業所もこの基準を目標としている。 ・実際には、利用者の位置やヘルパーの現在地によって到着時間に幅がある。例えば、近くにいれば数分で到着できる場合もあるが、遠い場合は時間がかかる。 ●訪問・コール対応の流れ <ul style="list-style-type: none"> ・緊急コールがあった場合、内容に応じて優先順位をつけて対応している。 ・怪我や転倒など緊急性が高い場合は、事務所に連絡し、最も近くにいるスタッフが対応。 ・緊急性が低い場合や「待てそう」なケースでは、多少時間をいただく場合もある。 ・コールがあった際は一度電話を切り、調整後に必ずコールバックし、到着予定時間（例：30分後、20分後など）を案内している。 ●コールバックの仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・利用者がペンダント型のコールボタンを押すと、スタッフが持つ専用スマホに着信が入る。 ・スマホには利用者の名前が登録されており、セキュリティのため二段階認証を導入。 ・利用者側は携帯電話や家電を持っていなくても自動で通話が始まり、終了も自動。 ・設定により家族からの連絡も対応可能。 ・手が動かない・押せない方にも対応できる仕組み。 ●定期巡回のメリット <ul style="list-style-type: none"> ・介護度 5 の方など、コールキーを押せない場合でも、1日3回の定期訪問や看護師との連携により体調変化に気づきやすい。 ・定期的な訪問により、利用者の状況を継続的にフォローできる ●訪問回数・内容の柔軟な調整 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況に応じて、定期訪問回数を増減することが可能。 <p>例：排便ケアで1日3回の訪問が難しい場合、訪問回数を増やすことも検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に問題がなければ、逆に訪問回数を減らすこともある。 ・利用者ごとにバランスを取りながらサービスを提供。 ●随時対応の多さと課題
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期巡回で随時対応が多い場合は、予防や対策が不十分である可能性がある。例：Aさんが1ヶ月で10回転倒した場合、計画作成時に「なぜ転倒したのか」「どうすれば転倒を防げるか」を検討し、随時対応を減らす努力が必要。 ・ 夜間の随時対応が多い傾向がある。 ● 介護認定前後の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護認定が下りる前にサービスを開始する場合、認定が下りなかった期間は自費対応となる。 ・ 介護認定が下りれば、その時点から介護保険サービスとして利用可能。 ・ 契約、問い合わせ段階でケアマネージャーから事前に説明を行っている。 ● サービスの受け入れ体制 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受け入れ人数に関して、人数制限は特に設けていない。 ・ 自費サービスは行っていない事業所もある為、基本的には要介護認定が出ることを前提に受け入れている。 ・ 定期巡回の利用者で要介護認定が出なかった事例はほとんどない。
<p>その他 必要な事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員増員や定期巡回サービスの強化を進めており、今後もサービス内容・時間帯の拡充に注力する方針。 ・ 利用希望や相談があれば、遠慮なく連絡してほしいとの呼びかけ。